

防除情報(病害虫情報 号外 第7号)

令和6年12月5日
神奈川県農業技術センター

促成イチゴにおけるハダニ類の多発に注意してください

ハダニ類は葉裏に寄生するため、発生に気づかず、多発するまで見落としてしまうことがあります。多発すると葉の生育が阻害され、株全体が萎縮することもあります。ハダニ類の発生初期での防除に努めましょう。

[7~11月の発生状況]

巡回調査において、育苗期の7月および本ぼ定植後の10月に、ハダニ類の発生が平年より多く確認されました。薬剤散布等の防除対策を実施し一時的に寄生密度が下がったように見えても、薬剤の付着ムラ等によりほ場内で生き残ったハダニ類が再度増殖する恐れがあります(図1)。

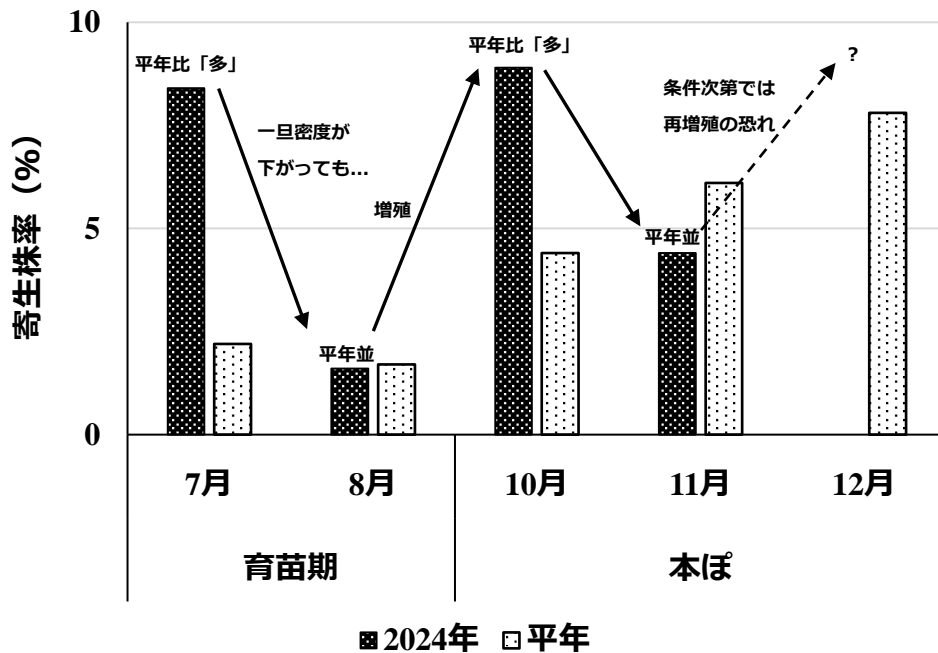


図1 促成イチゴにおけるハダニ類寄生株率の推移
※9月は調査なし

[防除の留意点]

- ほ場をこまめに観察して早期発見に努め、ハダニ類が増殖する前に防除してください。
- ハダニ類が寄生した葉は、ほ場外に持ち出すとともに、ほ場周辺に放置せず適切に処分してください。
- ハダニ類は下葉の裏に多く寄生するので、下葉を整理し、薬剤が葉裏にも十分にかかるよう丁寧に散布してください。なお、薬剤散布の際は、系統の異なる薬剤でローテーション散布を行い、薬剤抵抗性が発達しにくい気門封鎖剤も活用してください。
- すでにハダニ類が多発しているほ場では、1回の薬剤散布のみでは薬剤の付着ムラなどで効果が不十分となる場合があるので、効果を確認しながら数回散布してください。
- 訪花昆虫や天敵カブリダニ剤を放飼する場合は、これらの生物に影響の少ない薬剤を選定してください。なお、天敵を利用する場合は、上記2~4に記載した防除等を実施し、ハダニ類の密度を低下させた後に放飼してください。

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333
 インターネット <https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>

○ 農業使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。